



令和5年度学校だより

ふたば

甲府市立千塚小学校

学校教育目標

『心豊かでたくましい子供』

No. 5 令和5年 7月20日

文責:校長 青嶋和幸

〇1 学期のご協力, ありがとうございます

1年生は72日, 2年生から6年生までは71日の1学期が終わります。保護者の皆様, 地域の皆様, 学校への多大なご支援, ご協力誠にありがとうございました。おかげさまで, 子供たちの健やかな成長への確かな手応えとともに今学期を終えることができました。

さて, 子供たちは明日から夏休みを迎えます。1学期の成果を生かしながら, 家族の一員, 地域の一員として, 充実した38日間を過ごしてくれることと思います。8月28日(月)に全校児童が元気に登校してくるのを待っています。



〇夏休みが始まります。～ 今年の夏は「ふ・た・ば」で～

終業式で「自分が決めたことに進んで取り組み, 健康で充実した休みにしよう。」という話をしました。そのためのポイントは「ふ」「た」「ば」です。

☆「ふ」…「ふしぎいっぱい夏休み」

復習や自主学習, 自由研究…など

☆「た」…「たくましい夏休み」

感染症や熱中症の予防, 運動, 早寝早起き…など

☆「ば」…「ばっちり夏休み」

あいさつやお手伝い, きょうだいで仲良く, きまりを守る…など

夏休みの終わりに「よい夏休みだったなあ!」と思えたらすばらしいです。2学期の始業式の日, たくさんの「ふ」「た」「ば」自慢を聞かせてくれることを楽しみにしています。



・一人一人が成長する夏休みに

夏休みは子供たちが成長する絶好の機会です。学校中心の生活から家庭や地域中心の生活になっていきます。あわせて, 新型コロナウイルス感染症が5月に5類に移行されたことに伴い, 制約もだいぶ緩和されました。目標を持ち, できること・やりたいことにじっくり向き合う, そんな有意義な機会になることを願っています。

・今年度の夏休み中のプール開放及び図書館開館日について

近年, 夏休み中の気温が上昇しています。コロナ禍以前には, 両方とも午前中の早い時間に実施する等工夫を行ってきましたが, 近年の気温上昇の状況を鑑みると, 開放日の登下校中の熱中症の危険性が非常に高いことが予想されます。水泳授業につきましても, 教育課程の工夫により, 目標達成に必要な時数を1学期に行うことができます。以上のことから, 今年度の夏休み中のプール開放及び図書館開館日につきましても実施いたしません。ご理解をよろしく願います。

※裏面に続く

○通信表「千塚の子」について

本日、子供たち一人一人に通信表「千塚の子」を渡しました。子供たちは様々な思いでこの「千塚の子」を保護者の皆様に渡すことでしょう。

ここでは、別紙「通信表『千塚の子』について」にもありますが、保護者の皆様に、少し内容が伝わりづらい、「主体的に取り組む態度」の評価について、文部科学省 国立教育政策研究所が発行している「学習評価のあり方ハンドブック」(以下ハンドブック)から引用して、少し補足説明をさせていただきます。

ハンドブックによれば、主体的に取り組む態度の評価について、次のように記載されています。

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。(P.6)

具体的にはこんな記述もあります。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価については、①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面と、②①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面、という二つの側面から評価することが求められる。

これら①②の姿は実際の教科等の学びの中では別々ではなく相互に関わり合いながら立ち現れるものと考えられる。例えば、自らの学習を全く調整しようとせず粘り強く取り組み続ける姿や、粘り強さが全くない中で自らの学習を調整する姿は一般的ではない。(P.9)

前の通信表にあった「関心・意欲・態度」＝「主体的に学習に取り組む態度」ではありません。今までの「関心・意欲・態度」を評価するにあたって見とってきたこと(例えば、授業態度・提出物・忘れ物・発表などの意欲等)に加えて、次のことが重視されています。

(1)知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしている。

(2)(1)を行う中で、自らの学習を調整しようとしている。

つまり、主体的に取り組む態度の「◎」(めあてを十分達成している)は、かなり高い目標が求められていると言うことです。

新年度にあたり、「主体的に学習に取り組む態度」を含め、子供たちの評価について、校内で再確認をしました。評価は他の子供との比較ではなく、ねらいに対して、本人がどの程度到達したかを示すものです。どうしても、◎や○、△の数が気になってしまいますが、この数だけが子供たちの姿の全てではありません。

子供たちの長所や短所、学習の様子、生活の様子、活動の様子などをご家庭にお伝えし、共通理解を図り、子供たちを励まし、次への意欲につなげる資料にして欲しいと考えています。「学習の様子」はもちろんこと、それ以外の部分にも一人一人のがんばりが記載されています。別紙「通信表『千塚の子』について」にあるように、通信表全体をご覧になり、子供たちの次の努力への出発点としていただくための資料にしてください。

